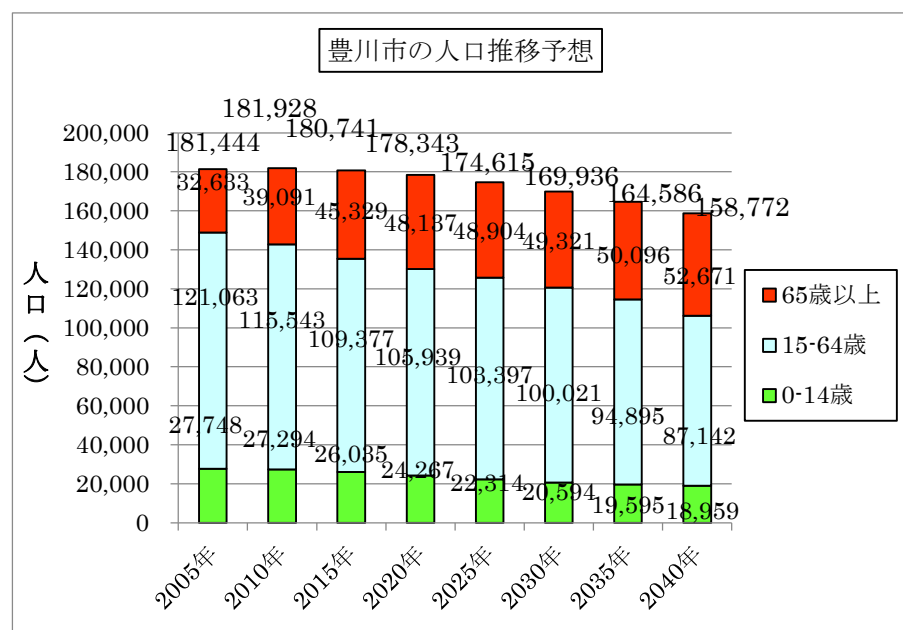


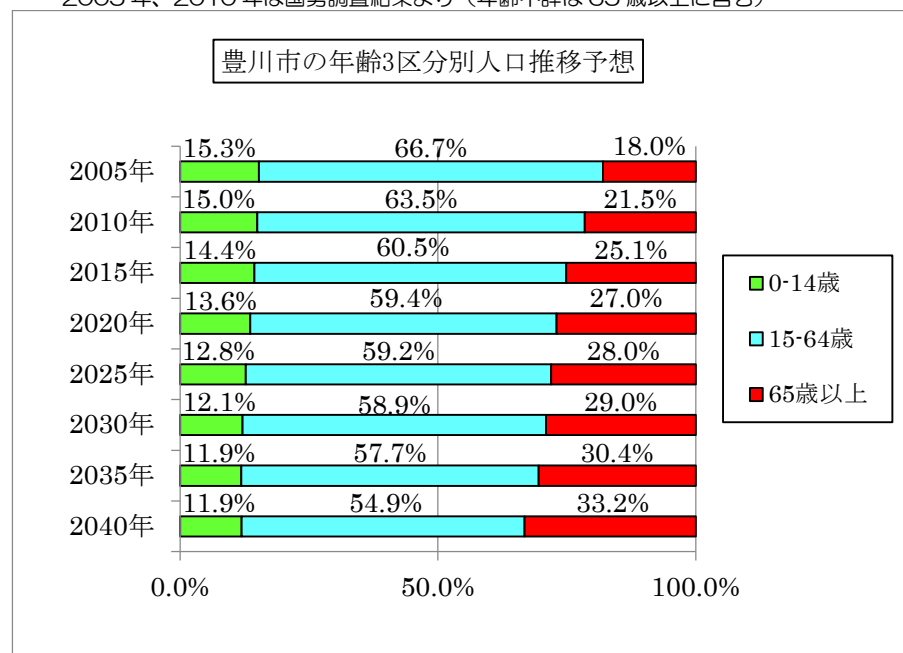
< 豊川市の人口動向のポイント >

1.本市の人口推移

- 本市の人口は、2008年12月の183,259人をピークに減少傾向にあります。
- 今後も減少傾向は続く予想され、2040年には158,772人となる予定です。
- 2010年→2040年の人口割合は、14歳以下の年少人口が15.0%から11.9%へ減少、15から64歳の生産年齢人口が63.5%から54.9%へ減少、65歳以上の老年人口は21.5%から33.2%へ増加すると予想され、人口減少・高齢化は急速に進行していきます。



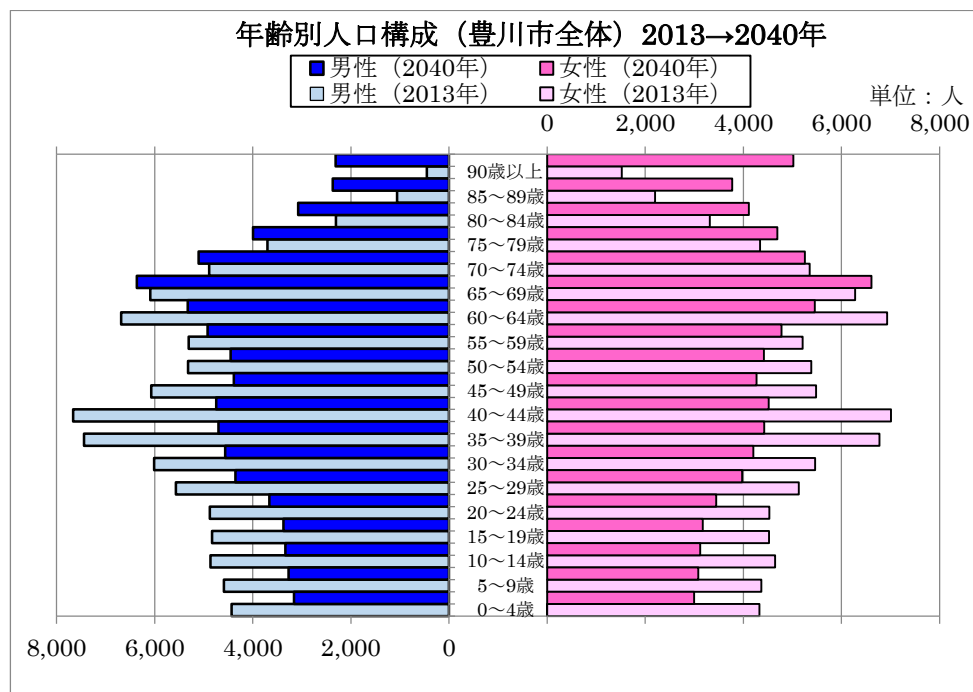
※国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（2013年3月発表）より
2005年、2010年は国勢調査結果より（年齢不詳は65歳以上に含む）



※国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（2013年3月発表）より
2005年、2010年は国勢調査結果より（年齢不詳は65歳以上に含む）

2.本市の人口構成

- 2040年の豊川市は、45歳以下の人口減少が目立ちます。
- 一方で、90歳以上の高齢者の増加が顕著になります。



※2013年は住民基本台帳人口より。2040年の推計値は、国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（2013年3月発表）より

3.本市の自然動態と社会動態の動向

- 出生数は減少傾向にあり、死亡数は増加傾向にあるため、人口増加数が縮小しています。
- 今後は増加から減少に転じることが予想されます。
- 社会動態は2009年から2012年まで転出超過が続きましたが、2013年に転入超過に転じています。

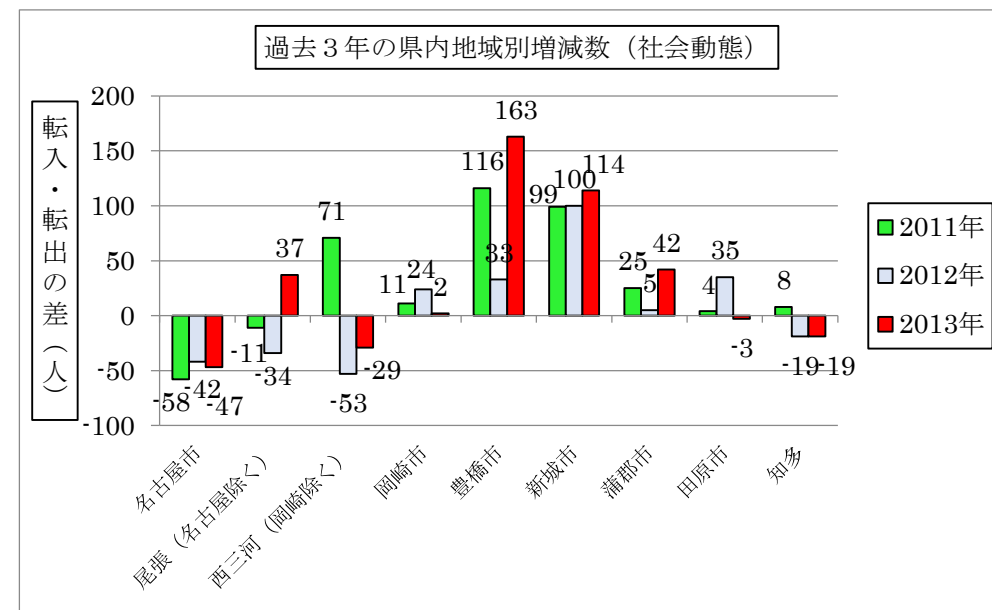
自然動態と社会動態の推移 (単位：人)

年	自然動態			社会動態			人口増減
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
2009年	1792	1473	319	6783	7833	-1050	-731
2010年	1761	1592	169	5851	6458	-607	-438
2011年	1719	1588	131	5665	6000	-335	-204
2012年	1740	1624	116	5603	5923	-320	-204
2013年	1729	1723	6	5737	5233	504	510

※愛知県公表データより。その他の理由（職権消除、国籍喪失など）による増減は含まない。
各年の数値は、前年10月～当年9月末の集計値。

4.本市の県内における転出・転入の動向

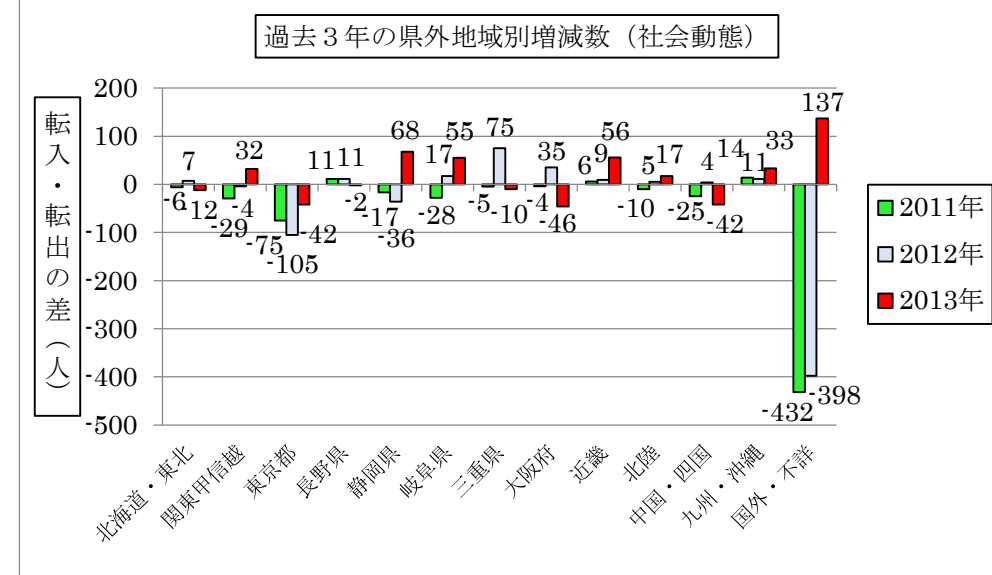
- 県内における社会動態については、転入超過が続いています。
- 豊橋市、新城市からの転入、名古屋市への転出が目立ちます。
- 東三河では唯一転入超過が続いています。



※愛知県公表データより

5.本市の県外における転出・転入の動向

- 静岡、岐阜、三重県との間で人口移動が多くなっています。
- 東京都への転出超過が続いています。
- また、国外との人口移動が大きな影響を与えています。



※愛知県公表データより